重要文化財 小林家住宅 マップ

重要文化財

小林家住宅

◆立地

東京都西多摩郡檜原村藤原4994番地

◆建設年代

18世紀前半（江戸時代中期）

◆規模・構造形式

桁行8間半　梁間4間半　入母屋造　茅葺　平入り

小林家住宅は、東京都の西部の山岳地帯にあり、月夜見山と御前山を繋ぐ尾根から小河内峠を介して南北に伸びる陣馬尾根と呼ばれる尾根筋上、標高 750m に建っている。

檜原村では、古くから炭焼きを行っており、小林家もこれに適した形で作られている。炭焼作業は主屋から離れた山中に窯を設けて行い、主屋は生活の場として利用されていた。そのため、主屋内は作業場としてのダイドコロ（土間）は狭く、多人数で住まうため、板張りのヒロマが広く取られている。良質な木材が入手しやすい環境であることから、柱には栗、土間境の大黒柱には栂、梁には大径の杉が用いられている。また、広範囲にわたり長押が取り付けられており、力強い構造美と上品な佇まいを両立した空間を作っている。

小林家住宅は、建設された場所にそのまま保存されている、山岳民家としては稀有な存在である。このため、主屋を中心に附属屋、炭焼き窯、湧泉、木炭の運搬に用いた尾根道など周辺環境が良好な状態で整備されており、自然と共生しながら暮らしていた人々の生活を偲ぶことができる。また、檜原村を東西に横断する浅間尾根を見渡せる眺望が開けており、四季により変化する景観も楽しめる。

重要文化財小林家住宅の概要

○平面積（建物床面積・側柱内側面積）	119 ㎡
○桁行（桁行両端柱間の真々）	15.48m
○梁間（梁間両端柱間の真々）	7.89 m
○屋根面積（平葺面積）	232 ㎡
○軒面積（茅負外下角内側面積）	186 ㎡
○敷地面積	634 ㎡
○つつじ園面積	3,724 ㎡

事業費

○小林家住宅保存修理事業	236,420 千円
○小林家住宅活用計画事業	5,960 千円
○小林家住宅環境・防災事業	93,094 千円

財源内訳

国庫補助金 65%　都支出金 20%　村負担金 15%

小林家住宅全景

管理棟と展望デッキ

馬小屋と板倉

小林家住宅の修理事業概要

昭和51年 1月21日	重要文化財に指定される。
平成20年 2月19日	重要文化財小林家住宅　買収により檜原村へ名義変更
平成23年12月	小林家住宅保存修理事業開始
平成24年 2月	運搬設備（工事用モノレール）発注　L=４６２m
平成24年 3月	仮設解体工事発注
平成25年10月	組立工事発注
平成26年 2月	大雪により事業の繰越を決定
平成26年 3月	小林家活用計画案終了
平成26年10月	小林家住宅保存修理事業終了
平成27年 3月	小林家住宅建造物防災施設等事業終了
	小林家住宅文化財建造物等地域活性化事業終了

みどりせせらぎ風の音♪
Tokyo 檜の原村

檜原村教育委員会
〒190-0212　東京都西多摩郡檜原村 467-1
電　話：042-598-1011（代表）

みどりせせらぎ風の音♪
Tokyo 檜の原村

重要文化財

小林家住宅

東京都西多摩郡檜原村